

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | |
|----------------|---|-----------------------|---|--|------|----|----|
| 専門学校麻生工科自動車大学校 | 平成20年3月31日 | 野見山 秀樹 | 〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-8-28 (電話) 092-433-0634 | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | |
| 学校法人麻生塾 | 昭和26年3月12日 | 麻生 健 | 〒820-0018 飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999 | | | | |
| 目的 | 高度技術や環境保全等の社会的に重要なテーマに対応できる国家一級小型自動車整備士を養成する。また幅広い整備対応を目的に二級二輪自動車整備士を養成する。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 工業 | 工業専門課程 | 1級自動車整備科 | — | 平成22年文部科学大臣告示第156号 | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼間 | 3895 | 1179 | 0 | 2716 | 0 | 0 |
| 単位時間 | | | | | | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | |
| 220人 | 139人 | 7人 | 1人 | 8人 | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日 | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う | | | |
| 長期休み | ■学年始:4月1日～4月11日 ■夏季:8月3日～9月13日 ■冬季:12月19日～1月11日 ■学年末:1月30日～3月31日 | | 卒業・進級条件 | 履修すべき全授業科目に合格していること。出席日数が出席すべき日数の90%以上であること。国土交通省の定める規定の時間を満たしていること。 | | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 補講の実施、休学、留年 | | 課外活動 | ■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有 | | | |
| 就職等の状況 | ■主な就職先、業界等 自動車ディーラー、自動車整備業界 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報) | | 主な資格・検定等 | 1級小型自動車整備士 | | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 5名 平成27年5月1日 在学者 142名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 131名 (平成28年3月 卒業者を含む) (内6名転出) | | ■中退率 3.5% | | | | |
| | ■中途退学の主な理由 学習意欲の喪失、単位未取得、出席不良 | | | | | | |
| | ■中退防止のための取組 学生ガイダンス実施マニュアルに沿った細かな面談の実施 | | | | | | |
| ホームページ | http://www.asoiuku.ac.jp/acet/ | | | | | | |

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省の指針に合わせ、社団法人日本自動車整備振興会連合会発行の最新の自動車整備士養成課程教科書「一級自動車整備士」の内容にある幅広い高度な整備技術能力(新しい電子制御機構や新技術、振動騒音にも対応できる総合診断力)とビジネス感覚を身につけた整備技術コンサルタントとして人材を育成するため、4年間でインターンシップを含めた高度な実践的カリキュラムを学習していく。さらに、環境保全や安全管理の学習をとおして、職場や地域環境保護に対しても先導的な役割を担うことのできる人材を育成することを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業及び教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。また、インターンシップ時等に企業訪問を行い、企業からの要望を伺い教育に生かしていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|--------|-------------------------|
| 岸原 武志 | 一般社団法人 福岡県自動車整備振興会 指導部長 |
| 江崎 雅弘 | 福岡トヨタ自動車株式会社 執行役員総務部長 |
| 坂口 哲也 | 福岡トヨタ自動車株式会社 サービス部長 |
| 野見山 秀樹 | 専門学校 麻生工科自動車大学校 校長 |
| 安部 倫太郎 | 専門学校 麻生工科自動車大学校 校長代行 |
| 小串 浩之 | 専門学校 麻生工科自動車大学校 校長代行補佐 |
| 永江 貴史 | 専門学校 麻生工科自動車大学校 主任 |
| 小金丸 清 | 専門学校 麻生工科自動車大学校 教員 |

(開催日時)

平成27年度

第1回 平成27年6月25日 15:00～15:20

第2回 平成27年12月9日 17:00～19:00

平成28年度

第1回 平成28年6月23日 15:00～17:00

第2回 平成28年9月2日 15:00～17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省の規定に基づく内容で実施

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|----------|----------------------------|--|
| インターンシップ | 1)自動車の点検整備 2)故障原因探究 3)総合診断 | 福岡トヨタ自動車(株)、(株)福岡トヨペット、福岡スバル(株)、福岡ダイハツ販売 |
| | | |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|--------|-----------------------|
| 江崎 雅弘 | 福岡トヨタ自動車株式会社 執行役員総務部長 |
| 坂口 哲也 | 福岡トヨタ自動車株式会社 サービス部長 |
| 下西 明 | ダイハツ工業株式会社 理事 |
| 時松 真秀子 | 平成23年度卒業生 |
| 杉本 誠 | 平成22年度卒業生 |
| 林 紀子 | 保護者 |
| 村上 伸二 | 東比恵2丁目町内会 |
| 大和 豊 | 筑紫台高等学校 校長 |
| 下村 輝夫 | ものづくり人材育成センター 顧問 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_acet.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: (麻生塾) <http://www.asojuku.ac.jp>

(専門学校麻生工科自動車大学校) <http://asojuku.ac.jp/acet/>

授業科目等の概要

| (工業専門課程 1 級自動車整備科) 平成 28 年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|------|------|------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 基礎自動車整備 | 整備の基礎知識、基本作業、測定作業、点検用機械工具 | 1 通 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | 基礎工学 | エンジン、シャシ、電気装置、二輪自動車 | 1 通 | 31 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | エンジン構造 | エンジン本体、潤滑装置、冷却装置燃料装置、吸排気装置、電気装置 | 1 通 | 62 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ジーゼルエンジン構造 | エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置、電気装置 | 1 後 | 31 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | シャシ構造 | 動力伝達、アクスル、サスペンション、ステアリング装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー | 1 通 | 77 | 5 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | 電装構造 | 電気回路、オームの法則、電気、電子についての基礎、半導体、バッテリー、始動装置、充電装置、点火装置 | 1 通 | 63 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 材料・燃料・油脂 | 自動車に使われている材料についての種類、性質、特性、燃料、油脂の内容、潤滑及び潤滑油、作動油の内容 | 1 後 | 15 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 数学 I | 単位、基礎的な原理・法則、自動車の諸元、電気の基礎 | 1 後 | 18 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 数学 II | 単位、高度な原理・法則、自動車の諸元、電気の応用（応用編） | 2 前 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 法規・検査 I | 道路運送車両法、道路運送車両の保安基準、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 | 1 後 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | 法規・検査 II | 道路運送車両法、道路運送車両の保安基準、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 | 2 通 | 33 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------|---|----|-----|---|---|--|--|---|---|---|---|---|
| ○ | | ガソリンエンジン | エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置、電気装置、故障原因探求 | 2通 | 65 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | ディーゼルエンジン | エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置、電気装置、故障原因探求 | 2通 | 47 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | シャシ | 動力伝達、アクスル、サスペンション、ステアリング装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー、故障原因探求 | 2通 | 64 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | 電装 | エンジン、シャシ電気装置、始動装置、充電装置、点火装置、故障原因探求 | 2通 | 64 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 基礎実習 | 手仕上げ工作、機械工作、基本測定実習 | 1前 | 70 | 1 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | エンジン整備実習Ⅰ | エンジン本体、燃料装置、吸排気装置、冷却装置 | 1通 | 188 | 4 | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | シャシ整備実習Ⅰ | 動力伝達装置、アクスル及びサスペンション、ステアリング装置、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー | 1通 | 187 | 4 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 電装整備実習Ⅰ | 始動装置、充電装置、点火装置、電子制御装置、灯火装置、計器、ホーン、ワイパ、ウォッシャー、エアコン、電気装置の配線 | 1通 | 185 | 4 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | エンジン整備実習Ⅱ | エンジン本体、燃料装置、吸排気装置、冷却装置 | 2通 | 173 | 4 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | シャシ整備実習Ⅱ | 動力伝達装置、アクスル及びサスペンション、ステアリング装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメント、ブレーキ装置、フレーム及びボデー | 2通 | 158 | 3 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 電装整備実習Ⅱ | 半導体、バッテリー、始動装置、充電装置、点火装置、電子制御装置、灯火装置、計器、ホーン、ワイパ、ウォッシャー、エアコン、電気装置の配線 | 2通 | 173 | 4 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 故障原因探求 | ガソリンエンジン故障原因探求、ディーゼルエンジン故障原因探求、シャシ故障原因探求、電装故障原因探求 | 2後 | 62 | 1 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 自動車検査作業 | 道路運送車両法等の改正の概要、定期点検の実施時期、点検整備記録簿、自動車メーカーが指定する点検整備 | 2後 | 60 | 1 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | エンジン電子制御 | エンジン電子制御装置、吸入空気量信号回路、スロットル開度信号回路、電源回路、センサ、アクチュエータ | 3通 | 128 | 8 | ○ | | | ○ | | | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------|--|--------|-----|---|---|--|--|---|---|---|---|--|
| ○ | | シャシ電子制御 | シャシ電子制御装置、電子制御式オートマチックトランスミッション、電動式パワーステアリング、アンチロックブレーキシステム、オートエアコン | 3 後 | 95 | 6 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 自動車新技術 | ハイブリッドシステム、無段変速機、CNG自動車、筒内噴射式エンジン、コモンレールシステム、車両安定制御装置 | 3 通 | 80 | 5 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 環境安全 | 環境保全とその必要性、資源の有効活用、産業廃棄物の影響と対応、PRTTR法安全管理の意義、災害防止、職場における防火防災、救急処置についての心得 | 3 通 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | マナー | 自動車整備業のリーダーとして求められるマナーや立ち振る舞いの習得 | 3 前 | 15 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | SPI | 就職試験で出題されるSPI（非言語問題、言語問題）の解答解説。分数の計算からはじまり最終的には確率の問題まで解けるように演習を実施する。漢字の読み書きの問題の実施。 | 3 通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 就実 | 自動車整備業界の研究や自己分析を進めて、社会人になる準備を行う。 | 3 通 | 45 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 産マネ | 日経産業新聞を教材とし、新聞の読み方の基本を学ぶ。自動車業界の記事に対しての個人の考えや評価を作成、また個人作業の中でグループディスカッションを実施。 | 3 通 | 45 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | GCB II | 「志を立てる」をテーマに人間力を育む麻生専門学校グループ独自のカリキュラム。自動車整備業界のリーダーに相応しい行動力や意欲を持たせていく。 | 3 後 | 15 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | ホームルームⅢ | 目標をひとつにしているクラスで、達成するための施策を自ら考えていくことを繰り返し、問題解決力を養っていく。 | 3 通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | ホームルームⅣ | 目標をひとつにしているクラスで、達成するための施策を自ら考えていくことを繰り返し、問題解決力を養っていく。 | 4 通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | スペシャルゼミⅠ | 新技術への対応力の習得 レーダーブレーキサポート、ハイブリッドモータ制御、スマートキーエントリーシステム、アイドルストップ等について研究・発表 | 3 後 | 95 | 2 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | スペシャルゼミⅡ | CAN通信、エンジン高度故障診断、ABS、オートエアコン、シャシ高度故障診断 | 4 前 | 95 | 2 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 総合実習 | リーダーとして整備業界をけん引していくことを前提に、部下(下級生)への確実な基礎実習の教授、実習作業時の安全管理・監督を行い、部下(下級生)を育成および指導する。 | 3 前 | 140 | 3 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 高度診断技術 | ダイアグノーシス機能の理解、外部診断機を活用した故障診断要領の理解、基本点検作業の習得、DGとフェイルセーフの研究 | 3 前 | 125 | 3 | | | | ○ | ○ | | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|-------------|---|--------|---------------------|---|--|--|--|---|---|---|---|---|---|
| ○ | | 故障探求Ⅰ | 振動・騒音分析器の有効な機能を紹介し、 各々の状況下で最適に活用し、振動・騒音の 解析を行うとともに、振動・騒音の低減の効 果についての研究を行う。 | 3 後 | 125 | 3 | | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 故障探求Ⅱ | 異常検知範囲の研究 検出信号電圧を変化させてマイコンの閾値の 研究、異常検知外でのデータ解析 及び 症状 の確認 | 4 前 | 98 | 2 | | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 故障探求Ⅲ | 過去に出題された国家試験を、車両及び診断 機器等を用いて検証。また不具合が起こった 場合の車両現象、電圧の変化等を研究し故障 探求技術の向上及び理解度を向上させる。 | 4 後 | 128 | 3 | | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 故障探求Ⅳ | 日整連発行「自動車定期点検整備の手引き」 をもとに、不具合箇所を確認しながら点検作 業を行う。受付から納車説明までを含めた流 れの実践。 | 4 後 | 128 | 3 | | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 故障探求Ⅴ | 過去に出題された国家試験を、車両及び診断 機器等を用いて検証。また不具合が起こった 場合の車両現象、電圧の変化等を研究し故障 探求技術の向上及び理解度を向上させる。 | 4 後 | 113 | 2 | | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 総合診断 | エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装 置、自動車新技術の内容の各装置の総合診断 | 4 後 | 98 | 2 | | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | インター シップ | 国土交通省の規定に基づく内容 自動車の点検整備、故障原因探求、総合診断 | 4 前 | 315 | 7 | | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| 合計 | | | | 46 科目 | 3895 単位時間 (133 単位) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | | 授業期間等 | |
|--|--|-----------|-----|
| (卒業要件)履修すべき全授業科目に合格していること。出席日数が出席すべき日数の90%以上であること。国土交通省の定める規定の時間を満たしていること。(履修方法)各授業科目の総授業時間数の3分の2以上出席し、C評価以上の評価を取得することで、当該科目を履修したことを認める。 | | 1 学年の学期区分 | 2期 |
| | | 1 学期の授業期間 | 15週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。